

湖 畔 の 風

★田瀬湖さわやかウォーキング開催

10月29日（日）田瀬湖も紅葉が進み、恒例の第11回田瀬湖さわやかウォーキングが開催されました。地区内外合わせて36人とたくさんの方々が参加され、旧アヤマ園あとに集合し、白銀橋（つり橋）田瀬大橋を渡って集合場所に戻る約5キロのコースを歩きました。途中、景勝地『安倍貞任隠れ岩』では、当会議から歴史説明があり、「初めて聞いた」「なんとなくは知っていたけど、勉強になった」などの声がありました。元気な方は隠れ岩までのぼり、岩穴を見ました。

ウォーキング終了後は田瀬振興センターに場所を移して、女性部特製のまつたけご飯と芋の子汁を美味しくいただきました。芋の子汁は何杯もお代わりする方がいました。

今年は、海洋センターが改修工事のため、遊覧船での田瀬湖遊覧はできませんでした。来年はぜひ再開してくださいとの声が多くありました。



市内外から30人以上の参加、アンケートには参加して良かったの回答がほとんど



紅葉もちょうど良い色合い
気持ちよく森林浴をしました



つり橋を慎重に渡りました



伝説安倍貞任隠れ岩
幽玄な雰囲気があります



おいしいまつたけご飯と芋の子汁をいただきました

★成島和紙でランプシェード講座を開催しました



すてきな作品になりました

成島和紙の伝承と製品の開発などについて、活動している協力隊の赤津有美さんを講師に、ランプシェード講座を開催しました。令和5年度生涯学習事業で11月12日（日）7人の参加者がありました。

和紙の原料となる皮をはいだ楮（こうぞ）の木を使い、それぞれ好きな形にランプシェード枠をつくりました。それに、好みの成島和紙を貼り合わせて完成です。

楮の木を組み合わせて枠を作るのですが、同じ太さや長さ、真っ直ぐというわけではないので、先に木を選んでデザインを考えまし

た。なかなか、デザイン通りにはいかなくても、個性的ですてきなランプシェードに仕上がりました。

このランプシェードは、協力隊の方々が12月の中旬から開催する『成島和紙灯イベント』に展示されます。後日、広報はなまきやチラシなどでお知らせいたします。



面白い枝はないかなー



和紙を貼る作業は楽しい！！

*ワカサギ釣り体験始めました 花巻市観光協会ホームページより

11月18日から体験スタート。

体験時間 受け入れ時間：9:00～14:30 12月29日～1月3日はお休みいたします。

※天候の状況により実施できない場合もございます。

【体験料】（お一人様）4,500円

- ・乗船者傷害保険料、釣り券（漁協発売）、ボートレンタル料金が含まれます。
- ・時間無制限

【釣竿レンタル（えさ付き）】1竿 2,000円

お問合せ：TEL:080-5740-9014（田瀬湖まちおこしプロジェクト）

※詳しくは花巻観光協会のホームページをご覧ください。



ちょこっと お知らせ

*田瀬釣り公園と東和海洋センターの営業が終了しました

10月31日をもって、『田瀬釣り公園』と『東和海洋センター』の令和5年度の営業が終了いたしました。来年度の営業開始は4月末の予定となっています。その際には、またお知らせいたします。

*さわやかトイレの使用が出来なくなります

12月より4月中旬までの冬期間は、凍結防止のため、『さわやかトイレ』（小倉・中通）の使用が出来なくなります。地区の皆様には大変ご不便をおかけいたしますが、どうぞご了承ください。

異聞 田瀬の歴史 第23回

《江戸大相撲に挑んだ男》 砥森山善助 その3

善助、改心す

それからというもの、田畑に出て働く善助の大きな姿をみて部落の人たちはみんな喜んで声をかけていました。善助にとっては土俵の上でかけられる「とみやまー」という掛け声よりも「ぜんすけさーん」と呼ばれるのが、この上なく嬉しくなってきました。

その年の秋、巡業に訪れた四賀峰(よつがみね)のもとに、たくさんの米や野菜を善助は運びました。師匠の「ごっつあんです」の声は格別のものでした。

天保3年(1832)9月。秋の収穫の準備に余念のない善助のもとに、江戸は両国から四賀峰東吉死去の知らせが届きました。すぐさま善助はとるものもとりあえず江戸に向かいました。そして、江戸は池上の本門寺に葬られた師匠・四賀峰こと信力院持法信士の墓前に手を合わせたのでした。

田瀬に帰った善助は興禅院に行き報告と相談をしました。江戸の師匠の墓前に線香をあげるのは容易なことではないので、何かよい方法はないだろうか、というものでした。

この頃、住職は13代目の祖呼(そこう)和尚さんでした。和尚さんは、門前の石段の横に念仏供養塔がある。そこをお参りなさい。と、教えました。善助は納得しません。師匠だけの供養をしたい。それでは単独の供養塔を建てることだということになり、善助は持ち前の力を発揮して、猿ヶ石川より大きな川石を運びました。石屋さんを頼んでその石で供養塔を造り、祖呼和尚さんをお願いして魂入れの法要をしていただきました。土場の家とお寺とは猿ヶ石川を挟んで対岸ですが、節々のお参りを欠かさない善助の姿がありました。



湖底に沈んだ興禅院と念仏供養塔

《後日談 昭和60年9月6日。田瀬湖は昭和29年9月に湛水以来初めてというダムが建設時、同時に近い水位に下がるという情報があった。》

善助は実在したのか

善助の実家・土場家がダム構築による水没のため下鱒沢に移転したこともあって、善助が実在の人物であるかどうかの考察が必要で、そのため、土沢に移転して今は故人となった阿部敏さんを頼んで湖底にあった土場家の墓地を調査することになった。ダム建設の時には先祖のお骨は可能な限り取り出したというが、墓石の移転はできなかったということを知っていたので水が引けるのを待って調査に入った。

今の砥森神社より約500メートル下がったところに土場家の旧墓地があった。泥に埋もれていたが、わずかに墓石の上の部分が見えた。数基ある墓石の一つ一つの泥を取り払っていく。ダムの水が引いたばかりなので、泥は柔らかく墓石に刻まれている文字も判読できる。善助の父親らしき墓石が見つかった。3尺ほどの川石である。安翁明楽居士、天保13年11月29日とある。過去帳にある善助父に間違いはない。師匠の四賀峰より10年あとの死去である。その脇の墓石が庭身休念大姉とあれば善助母に間違いはない。泥をふき取ってみると間違いはない。安政3年(1865)正月25日とある。さらにもう一基、やや大きめの墓石が見つかった。(次回につづく)

注意 空き巣事件 が発生しております。(倉沢、谷内樺山、北上市口内)



前回もお知らせしましたが、カギがかかっていない家を狙い、住民が就寝中にもかかわらず、金品を盗むという手口です。未だに犯人が捕まった情報は入っていませんので、引き続き、戸締りなど充分にお気をつけください。年末年始、家を留守にする機会も多いと思いますが、特にご注意をお願いいたします。

不審人物、不審な車を見た場合など、花巻警察署(23-0110)、谷内派出所(44-3215)等にご相談をお願いいたします。
被害にあった場合は、すぐ110番通報をしてください。

◎資源ごみの搬入について

日頃より資源回収にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。
令和5年度より資源ごみは業者に直接搬入をしております。今年度最後となります、第3回の搬入を12月5日(火)に行います。

ご家庭に資源ごみのある方は3日(日)までに、それぞれ地域の指定の場所にお持ちくださいますようお願いいたします。

回収した資源の代金と市からの報奨金は3地区に配分されます。



田瀬地域資源回収推進協議会

12月の行事予定

- 健康教室&マジック教室 12月6日(水) 9時~
- 親子ケーキ作り教室 12月17日(日)

1月の行事予定

- 田瀬ふるさとカルタ取り大会 1月8日(月)
- 田瀬太鼓発表会 1月8日(月)
- 健康体操教室 1月~3月

諸事情により、変更になることがあります。ご了承ください。

振興センター・社会体育館 年末年始の休業について

12月29日(金)から令和6年1月3日(水)まで年末年始年末年始の休業となります。
地域の皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご了承願います。
令和6年が皆様にとって明るい年になりますように。

田瀬地区の人口

(令和5年10月末現在)

行政区	世帯数	人数			比較 (9月末)
		男	女	計	
田瀬第1	68	81	89	170	—
田瀬第2	29	33	34	67	—
田瀬第3	73	73	85	158	2人減
計	170	187	208	395	2人減

※花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています。



すべてのお問い合わせ先

田瀬地域コミュニティ会議 事務局電話 44-5281まで